

## 総合周産期母子医療センター（小児科部門）

### 1. スタッフ（2020年4月1日現在）

部長（准教授） 矢田ゆかり  
 （教授） 河野 由美  
 医員（助教） 鈴木 由芽  
 下澤 弘憲  
 小森 咲子  
 相楽 昌志  
 シニアレジデント 3名 小児科と兼務。

### 2. 新生児集中治療部の特徴

栃木県総合周産期センター二施設のうちのひとつとして、県で出生するハイリスク新生児を二分する形で診療している。入院する新生児の疾患は、超低出生体重児から先天異常、外科疾患など多岐にわたる。

#### ・認定施設

日本周産期・新生児医学会基幹認定施設

#### ・認定医

日本小児科学会認定指導医 矢田ゆかり  
 日本小児科学会専門医 矢田ゆかり 他5名  
 日本周産期新生児医学会（新生児）専門医 矢田ゆかり 他2名  
 日本周産期新生児医学会（新生児）指導医 矢田ゆかり

### 3. 実績・クリニカルインディケータ

#### 1) 年間入院患者数

339名（再転科・転入6名を除く）。院内出生300名（初診時から外来観察43名、母体搬送30名、母体外来紹介227名）、院外出生39名（病院等からの搬送37名、自宅分娩2名）。

#### 2) 人工呼吸器管理数・率（気管挿管したもののみ）

96例／339例（28.3%）。

#### 3) 生存率・死亡数など

出生体重（BW）別、在胎週数（GA）別入院数および死亡数を示す。

GA (W)	入院	生存	死亡	生存率(%)
22	1	0	1	0
23	1	1	0	100
24	6	6	0	100
25	2	2	0	100
26	3	3	0	100
27	0	0	0	-
28	2	2	0	100
29	4	4	0	100

30	4	4	0	100
31	6	5	1	83.3
32	9	9	0	100
33	10	10	0	100
34	21	21	0	100
35	40	39	1	97.5
36	27	27	0	100
37以上	203	200	3	98.5
計	339	333	6	98.2

BW (g)	入院	生存	死亡	生存率(%)
<500	2	1	1	50.0
<1000	12	12	0	100
<1500	24	23	1	95.8
<2000	48	46	2	95.8
<2500	81	80	1	98.8
≥2500	172	171	1	99.4
計	339	333	6	98.2

#### 4) 死亡症例内訳

在胎37週	小脳橋低形成、多発関節拘縮、中枢性低換気、Fallot四徴症、肺高血圧症
在胎42週	18トリソミー、両大血管右室起始症、肺動脈閉鎖症
在胎40週	18トリソミー、食道閉鎖、心室中隔欠損症
在胎35週	Potterシーケンス
在胎31週	21トリソミー、一過性骨髄異常増殖症、播種性血管内凝固、心室中隔欠損症
在胎22週	超低出生体重児、重症新生児仮死、敗血症

#### 5) 先天性心疾患児入院例

有意な血行動態異常を呈する中等症・重症例は40例。PICU転科16例、こども医療センター小児科転棟3例（重複あり）、NICUから退院19例、NICU入院中死亡3例。

#### 6) 多胎入院数

76名（22.4%）。

#### 7) 外科症例数（手術例のみ）

小児外科19例。小児脳神経外科1例。

#### 8) 他院への搬送

14例。13例は状態安定後に搬送元等の病院に転院。

1例は居住地近くでの養育環境調整目的の転院。

#### 4. 2020年の目標・事業計画等

総合周産期母子医療センターとして、産科部門との連携を一層充実させ、より重症な症例に対応する。また県内の総合周産期センターである獨協医大、および関連の地域周産期センターと協力・連携しながら、栃木県、北関東地域の周産期医療の充実を図る。さらに周産期・新生児医学会認定施設として、専門医の育成に力を注ぐ。